

退院支援に係る聴き取り調査について

1 目的

精神障害者の地域移行支援における成功事例を収集することで、地域移行における工夫や連携の実践に関する情報を共有化する。最終的には「(仮題) 宮城県における地域移行支援ベストプラクティス」としてまとめる。

2 調査方法

(1) 対象事例

- ・医療・福祉・行政が連携し、精神科病院からの退院に繋がった事例
- ・障害者総合支援法による地域移行支援を利用し、圏域の相談支援事業所が退院支援に関わった事例

(2) 調査方法

- ・インタビュー調査（部会構成員から事例に関わった関係機関職員へ質問する形で聴き取り，1事例およそ1時間）
- ・聴き取り項目については，別紙「退院支援についての聴き取り調査票」参照

3 実施時期及び障害保健福祉圏域

(平成28年度) 気仙沼，仙南・仙台

(平成29年度) 大崎，栗原

(平成30年度) 登米，石巻

4 調査結果

(1) 聴き取りケース数

圏域	ケース数	会場
気仙沼	4	光ヶ丘保養園
仙南・仙台	2	宮城県立精神医療センター
大崎	2	宮城県大崎合同庁舎
栗原	2	栗原市役所
登米	2	石越病院
石巻	2	宮城県石巻合同庁舎
計 14ケース		

(2) ケース概要

①地域移行支援利用 4人

②主な病名(人数)

統合失調症(5)	精神遅滞・広汎性発達障害(2)	うつ病(1)	その他(3)
統合失調症・精神遅滞(1)	躁うつ病(1)	不安障害・精神遅滞(1)	

③本人の状況

- ・病状は安定していないが、本人が退院に向けた希望や目標をもっている。
- ・体調不良の自覚とその発信ができ、支援につながる力がある。

【症状】

- ・幻覚妄想や問題行動があるなど安定していない
- ・複数回や長期の入院状況にある
- ・治療中断や未治療などの状況がある

【経済状況】

- ・年金等の公的な収入がある
- ・体調や人間関係の問題で就労が長続きしない
- ・一人暮らしの者がいる一方、家賃滞納している者もいた

【強み】

- ・退院の希望や退院後の暮らし方の希望を持っている
- ・体調不良の自覚とその発信ができる
- ・家族の支援を受けたり、家族を支援する力がある
- ・具体的な目標を持っている
- ・継続できなくとも外出する機会を持っていた
- ・福祉サービスを利用できる

④周囲の状況

- ・家族の拒否や地域の偏見などがあり、受け入れ状況が良くない。
- ・利用できるフォーマル・インフォーマル支援がある。

【受入状況】

- ・家族の体調や拒否などが要因で受け入れされない
- ・家族以外との接点が少なかったり、地域の偏見がある
- ・親戚による支援

【経済状況】

- ・家族の年金に頼る
- ・生活保護受給
- ・借金や金銭管理ができない問題を抱える

【住まい】

- ・自宅
- ・仮設住宅から災害公営住宅への転居
- ・自宅環境が劣悪だったり、住める状況でなかったりする

【社会資源】

- ・相談支援窓口につながっている
- ・福祉サービスや訪問看護などを利用
- ・手帳受給者と受給できなかったものがある

(3) うまくいった要素及びうまくいかなかった要素

うまくいった要素	うまくいかなかった要素
<ul style="list-style-type: none"> ・支援者が本人の希望や強みを把握し、それも踏まえプラン作成やサービス導入（事業所の選定）を行った ・本人もプラン作成に携わり、本人・家族・支援者間でプランを共有 ・地域の支援関係者が日頃から顔の見える関係づくりをしていた ・ケア会議等を通じた支援関係者連携 ・本人と支援者の信頼関係が構築できたことで、本人中心のチームづくりができた ・退院へのモチベーションを本人が維持していた。 ・精神科医療機関から相談支援事業所へのサポート ・事例を通じた支援者の技術向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援関係者が話し合う機会が少ない ・支援開始当初から保健師が関わっていない場合がある ・ケア会議以外での関わりが少ない支援者がいた ・地域移行支援利用期間の見通しが明確でない ・グループホーム等体験利用できる施設が不足している ・本人の希望に添う事業所が圏域内に少ない ・病院以外の支援者が買い物等退院後の生活に向けた練習に関わる機会が少ない ・支援者の役割分担が明確でない

(4) 地域移行のポイント

下記のポイントを踏まえた支援により地域移行を進めていくことができる。

- ・支援者による本人の希望や強みの把握
- ・本人・支援者・主治医における退院に向けた意向の一致
- ・アセスメントに基づいた本人・家族状況にあわせたプランの作成
- ・退院や地域での生活についての先の見通し
- ・本人の退院に向けたモチベーションの維持
- ・地域の支援関係者の日頃から顔のみえる関係の構築
- ・支援関係者の連携した支援
- ・支援の核となる人の存在及びマネジメント機能
- ・インフォーマル支援も含めた各種サービスの活用